

たまのステューデントガイド育成プログラム ～学校教育と社会教育の連携・協働の推進を目指して～



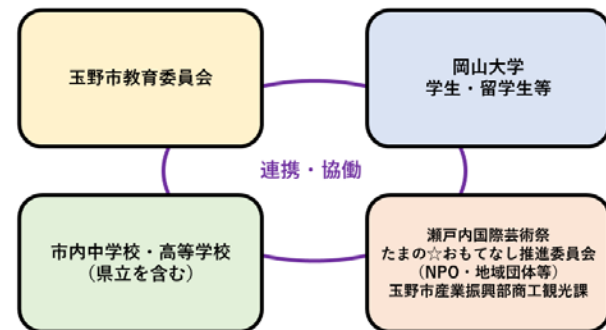
目的・活動

「たまのステューデントガイドプログラム」とは、玉野市教育委員会主催の社会教育事業であり、「宇野港を教育フィールドに」との考えから、玉野市の中高生が地域のボランティアガイドの方々や大学生・留学生等と一緒に、外国人観光客が多く訪れる宇野港・宇野駅でのおもてなし活動の積極的な参加や、地域での実践的活動を通じて、これからの社会に必要な力が育まれることを目的として行われている。

英語教育講座が担った「育成プログラム」では、学校教育において学習した英語表現を活用できるように、実践的なフィールドワークを中心とした活動を展開し、中高生がボランティアガイドを体験する「実践プログラム」への橋渡しとなることが期待された。

期待される効果

本プログラムにより、中高生は学校教育で学んだ英語表現を実際に活用する機会を社会教育において得ることができ、学習意欲を高めることに繋がった。また、普段交流することのない異校種の学生と社会人が集まることにより、それぞれのキャリア形成を考える機会を創出した。次のキャリアステージにおいても、現在と異なる立場から本活動に参加したいとの意見が出るなど、人材の循環による**持続可能な社会教育モデル**としての可能性が期待される。



育成プログラムの活動風景

岡山大学教育学部英語教育講座 学生 濱田 活仁

https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/653683_5790453_misc.pdf